

第三章

ジェンダー・外国人に関する
問題

- 1 「お互いを認め合える，子どもの育ちを願って」……………● 保育園……………63P
～保育士自身が何気なく見過ごしているジェンダーに目を向けて～
- 2 「日本語学級との交流を通して」……………● 小学校5年……………70P
～日本語学級の友達とわたしたち～
- 3 「女子も男子も，お互いが尊重して
なかよく生活できる学校をめざして」……………● 小学校全学年……………77P
～日常生活や学校行事の中でジェンダーフリーを実践する～
- 4 「つきたい仕事」……………● 小学校5年……………82P
～男女の枠にとらわれず自分自身の可能性を広げるために～
- 5 わたしへのメッセージ……………● 中学校1年……………86P
～男女共同参画社会づくりを目指して～
- ・ワークシート
「4つのコーナー」……………93P
「4つのコーナー」チェックカード……………94P
「分かるかな？ジェンダークイズ」……………95P
「分かるかな？ジェンダークイズ」解答……………96P
「ジェンダー」振り返りカード……………97P
「ジェンダー」なかよし通信……………98P

「男でしょ。しっかりしなさい。」「その口のきき方，男みたい。」日常生活の中で，今でも耳にする言葉です。日頃，無意識に植え付けられているジェンダー。教師や保護者の，この隠れたカリキュラムにより，子どもたちはジェンダーを植え付けられていきます。男女共同参画社会を目指す現在，まず指導する側がジェンダーの存在を意識し，日々の生活で見返すことが必要です。また，子どもたちの発達段階に応じたジェンダーフリーへの継続的な取り組みも必要です。

最近学校では，様々な国の子どもたちが，友達として共に学んでいる状況が出てきています。しかし，中には言葉や習慣の違いから生まれる偏見により，つらく悲しい思いをしている子どもたちがいます。国際化が進み，多民族・多文化の混在した多様性のある21世紀の社会で生きる子どもたちは，違いを当たり前のこととして受け入れることができる柔軟な考え方や，生き方を身につけてほしいものです。

第三章は，その観点を大事にとらえ展開した学習事例を掲載しました。